

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-169	14-054	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名（原題／訳）		
<p>Does legislation to prevent alcohol sales to drunk individuals work? Measuring the propensity for night-time sales to drunks in a UK city. 酔っ払いに酒を売らない法律は有効か？酔っ払いに酒を売る店の特徴について</p>		
執筆者		
Hughes K, Bellis MA, Leckenby N, Quigg Z, Hardcastle K, Sharples O, Llewellyn DJ		
掲載誌		
J Epidemiol Community Health. 2014 May;68(5):453-6. doi: 10.1136/jech-2013-203287.		
キーワード		PMID
若者、アルコール政策、健康負荷、イギリス		24430583
要 旨		
<p>目的： 明らかに酔っている若者に違法にアルコールを販売する業者の特徴を明らかにし、イギリスの法律が飲み続けることによって引き起こされる有害事象に対して予防的効果があるか検証する。</p> <p>方法： イギリスのある町で 73 か所のパブ、バー、ナイトクラブをランダムに選び、酔った演技ができる役者にアルコールを頼んでもらった。各店の管理状況を 10 項目で評価し、点数化した。</p> <p>結果： 酔った演技をした役者に酒を提供した店は 83.6%であった。管理状況が悪い店ほどより酒を提供していたが、最も管理状況が良い店でも 66.7%で酒を提供していた。役者の酔った仕草を分かっているながら酒を提供した店がしばしば見られた。18%でシングルよりもダブルを役者に勧めていた。</p> <p>結論： 酔っ払いに酒を売ってはいけないイギリスの法律は夜の街では日常的に守られておらず、告発されることもほとんどない。夜遊びの酔っ払いは個人にも医療にも大きな負担である。酔っ払いに酒を売らないことが公衆衛生上もっとも重要であろう。</p>		